



THE Y'S MEN'S CLUB OF KANAZAWA-SAIGAWA

CHARTERED IN JUNE 12, 1993

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF
Y'S MEN'S CLUBS

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA

KANAZAWA YMCA : 44-1, SATOMICHO, KANAZAWA, JAPAN 920-0998

<http://www.ys-chubu.jp/saigaways/>

国際会長主題 「私たちの未来は、今日から始まる」 “Our Future Begins Today”
 アジア地域会長主題 「ワイズ運動を尊重しよう」 “Respect Y's Movement”
 西日本区理事主題 「ワイズ魂で 更なるワイズの活性化を！」
 “Energizing Y's Men's Clubs with the Y's spirit !”
 中部部長主題 「出会い、ふれあい、響きあい、前へ進もう」
 金沢犀川クラブ会長主題 「平和を実現しよう！」 “Let's be the peacemakers!”

会長：平口哲夫、副会長・書記：北 肇夫、直前会長・会計：澤瀬 諭

今月の聖句： タベも朝も、そして昼も、わたしは悩んで^{うめ}呻く。神はわたしの声を聞いてくださる。
 闘^{たたか}いを挑^{いど}む多くの者のただ中からわたしの魂^{たましい}を贖^{あがな}いだし、平和を守ってくださる。
 詩編 55 篇 18 節～19 節

2017年4月強調月間

YMCA サービス・ASF

YMCA の愛と奉仕の活動を支援しつつ、次代を担うユースの育成に力を注ぎましょう！

堀 弘雄 Yサ・ユース事業主任 (熊本クラブ)

<p>☆☆☆ 4月第一例会案内☆☆☆ 金沢 YMCA 主催「たけのこ掘り体験」に参加 日 時：4月29日(土・祝)10:00～14:00 会 場：北陸学院大学三小牛キャンパス竹林 会 費：2,000円 準 備：澤瀬ワイズ ***プログラム*** このプログラムは当クラブ用の暫定的なもので、当日は金沢 YMCA 企画のプログラムにより進行します。 司 会：北ワイズ 開会・点鐘：平口会長 ワイズソング：一同 今月の聖句：司会者 ゲスト紹介：司会者 今月のハッピーバースデー：平口会長 平口ワイズ(4日) 食前の感謝：竹中ワイズ — 会 食 — 事業委員会報告：各委員 ニコニコタイム：澤瀬ワイズ 閉会点鐘：平口会長 *例会に使用済み切手、アル缶、ワス用布製品をご持参下さい。</p>	<p>☆☆☆ 3月例会報告☆☆☆ [第一例会] 3月9日(木)、「日本画の見方と楽しみ方」前田有加里氏(日本画家)、参加者：片岡 衝・森永壽久(ゲスト)、北・澤瀬・竹中・平口・平口メネット・三谷。 [第二例会] 3月23日(木)19:00～21:00、竹中チャペル、参加者：北・澤瀬・竹中・平口・三谷。 長浜クラブ 30周年記念例会 4月1日(土)12:30～、北ビワホテル グラツエ(長浜市港町 4-17)、北・澤瀬・平口・三谷参加予定。4月第二例会 4月13日(木)に変更。5月第一例会 5月11日(木)19:00～21:00、ホテル金沢(金沢市堀川新町 1-1)、卓話「起業体験談」(仮題)山下大貴氏 (株)カスマネジメント代表取締役)。 今月の聖句について この詩人が悩まされている敵とは、外敵ではなく「わたしと同じ人間、わたしの友、知り合った仲。楽しく、親しく交わり神殿の群衆の中を共に行き来したものだ。」(14節後半～15節)。都に横行する不法・争い・災い・労苦・搾取のただ中で、詩人は神に助けを求めますが、神から具体的な答えが示されたわけではない。それでも詩人は信仰をもって祈り続ける。(平口) 5月の当番 司会：澤瀬、準備：竹中 《金沢 YMCA のホームページ》 http://www.ys-chubu.jp/kanazawaymca/</p>
---	--

当クラブ	3月出席者	3月出席率(正会員)	B Fポイント	ニコニコタイム
正会員 4名	正会員 4名	4÷4×100	前月繰越切手 3,568g	前月累計 82,303円
広義会員 0名	功労会員 1名		3月分切手 0g	3月 5,800円
功労会員 1名	メネット 1名	メーキャップ 0名	今年度累計	
	ビジター 0名		切手 3,568g	
	ゲスト 3名		現金 円	
合計 5名	9名	100%		累計 88,103円

“TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT”

◆ 3月第一例会参加記 ◆

竹中 丈晴

3月9日(木)に開催された第一例会は、この3月で閉鎖して新しく建て直す予定の金沢都ホテルでの最後の例会となった。セレモニーと会食のあと、日本画家の前田有加里さんに「日本画の見方と楽しみ方」という演題でスライドを用いながら卓話をしていただいた。

前田さんは地元の辰巳丘高校普通科から京都造形美術大学に進まれ、日本画コースを卒業後、若手の日本画家として東京、京都、金沢を中心に活躍しておられる。自己紹介後、意外と知られていない「日本画の特徴」について、岩絵具とニカキを用いて絹本や紙、金箔などの上に描いた作品を紹介しながら、詳しく説明していただいた。岩絵具の種類の豊富さと高価な画材は、それを駆使する技術とあいまって、明らかに油絵とは違う日本画独自の世界をつくりあげている。初めて知る者にとっても、ある程度の予備知識を持っている者にとっても、興味津々、日本画の魅力を大いに堪能した卓話であった。

5月には俱利伽羅の「甚や倶楽部」で個展を計画されているとのことなので、ぜひ拝見したいと思う。今回は、卓話者の前田さんのほか2名のゲストと平口メネット、会員5名、合計9名が参加して、少人数ながら和気あいあいの例会であった。



◆ 次期会長主査研修会に参加して ◆

次期会長 北 肇夫

次期会長・主査(任期2017年7月～2018年6月)の研修会が3月18日(土)～3月19日(日)に大阪コロナホテル(大阪市淀川区西淡路)で開催された。会場は、昨年度と異なりJR新大阪駅から徒歩5分のところに位置し、交通の便に恵まれている。

今回は、金沢犀川クラブから筆者、金沢クラブから次期会長の幸正一誠ワイス、次期中部キャビネットとして数澤輝夫事務局長、次期中部メネット主査として数澤淑子メネットが参加、次期中部部長の山内ミハルワイスは業務の都合で欠席。

2日間の研修会を通して好印象や感銘を受けたのは、①森田恵三ワイス(ワイス将来構想特別委員会委員長)の「ワイスリーダーに求めたい気構え～ワイスメンズクラブの復興発展のために～」、②大野 勉・次期理事の方針のうち、「心身の健康づくりから、クラブの健康づくりへ」をとおして、更なるワイスの活性化・各事業を展開すること、③各部に分かれての自由闊達な懇談の場が持てたことであった。また、船木・LD 委員長はじめ各委員の方々のご奉仕により、スムーズな進行で充実した研修会となったことに感謝する。

当クラブでは、クラブ運営の具体的な課題として、これ

までも「会員増強活動」が挙げられ、それを効果的なものとするためクラブ活動の内容の質を高めてきた。しかし、会員増強の必要性は何ものにも増して優先度が高いものの、結果がついてこないため、クラブメンバーにもあきらめ感が漂うように思う。

それを打破する妙薬はないものの、これまで取り組んできた「クラブ活動の充実」に加え、YMCA との協働による「対外活動の展開」を通して認知度を高めていきたい。



(二日目午後、次期中部会長・主査などの集合写真)

◆ ロシア・バルト海クルーズ体験記(4) ◆

平口 哲夫

2015年8月24日現地時間9:00、ストックホルム入港。市庁舎、旧市街地ガムラスタン、王宮、フィヤールガータン展望台などを見物。

このうち、建物の内部に入って観たのはノーベル賞の受賞レセプション会場として有名な市庁舎だけ。



右下の写真は、「青の広場」に面した通路の壁に掲げられたノーベル賞メダルを模した像の前で撮ったもの。

その左の写真は、市庁舎の2Fにある設計者像の下にて撮ったもの。



(つづく)